



▲「富士川から見る新幹線と富士山」 藤枝支部 長野 良一

CONTENTS

- | | | | |
|---|---|----|--|
| 2 | <p>ごあいさつ</p> <p>三つを目標に「楽しいOB会活動を…」
東海鉄道OB会会長 石塚 正孝</p> | 10 | JR東海トピックス |
| 3 | <p>新年を迎えるにあたり
東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 松本 正之</p> | 14 | <p>お元気ですか? 名古屋セントラル病院
冠動脈インターベンション</p> |
| 4 | <p>法人会員新年挨拶</p> | 15 | <p>読者のひろば</p> <p>日本百名山に挑戦して 犬飼 暢
人生の節目 小澤 秀雄
私の国鉄時代 野澤 黎二
RTOのこと 奥村 元士</p> |
| 6 | <p>地本・支部だより</p> <p>●本部
平成21年秋の叙勲受章おめでとうございます
日本鉄道OB会連合会がホームページを開設</p> | 17 | <p>投稿ページ</p> |
| 7 | <p>●名古屋地方本部
“みんなで参加”大切な絆を繋ぐ</p> <p>●静岡地方本部
バーベキューで親睦強化を目指す
団体特急列車で行く「甲州ぶどう狩り」の旅
「鉄道博物館見学」の旅で仲間と一緒に幸せを</p> | 18 | <p>記事募集</p> <p>インストラクター
私と菊三昧 井上義雄(東海大阪地本)</p> |
| 9 | <p>●東海東京地方本部
横浜港「開港150年記念イベント」へ日帰りの旅</p> <p>●東海大阪地方本部
第2回 楽しく魚釣り大会開催</p> | 19 | <p>訳探訪
藤枝駅</p> <p>文芸
編集後記</p> |

三つを目標に“楽しいOB会活動を…”



東海鉄道OB会 会長
石塚 正孝

会員の皆様、明けましておめでとうございます。ご家族の皆様共々お健やかに平成22年の新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年はアメリカのリーマンショックに端を発する世界同時不況により日本経済も直撃を受け大変厳しい年になりました。経済は底は打ったと思われませんが回復にはしばらく時間がかかるとの観測が大方の見方です。

東海道新幹線の4月からの輸送量は対前年で90%とかつて無い厳しい状況です。平成3年のバブルの崩壊の時は平成6年まで輸送量が下がりました。3年間でマイナス7%でしたから今回の一年でマイナス10%は私たちが今まで経験をしたことの無い数字です。

政治においてもアメリカは共和党から民主党のオバマ大統領になりました。日本も民主党が衆議院選挙で大勝し自民党の長期政権にピリオドが打たれました。戦後初めての本格的な政権交代です。

わが国は現在、明治維新、そして終戦に続く大きな曲がり角にさしかかっており、民主党にその舵取りが任されたわけです。経済は低迷し少子高齢化で将来が心配されています。的確な対策をスピーディーに講じて老後の心配のない社会を作っていただくことを期待したいものです。

東海鉄道OB会は国鉄・JRを退職した方々が系統の別なく集い、相互の交流を通じて親睦と啓発を図り、楽しく豊かで充実した人生を送ることを目的としています。

活動は支部を中心としてJRとの関係ではさわやかウォーキングの応援、無人駅の清掃、SLの清掃、鉄道少年団行事の応援、踏切事故防止活動などが行われています。

また会員相互の親睦では情報誌の発行、旅行会、ハイキング、ゴルフ、グラウンドゴルフ、花見、納涼会、カラオケ、囲碁、麻雀、俳句の会など行われています。

支部により活動の濃淡がありますが、いずれにしても定期的に集まり、それを積み重ねていくことが大事だと思います。役員の方々には大変ご苦勞をおかけしますがメンバーに合った活動を粘り強く続けていただきたいと思います。

昨年は三つをお願いをしました。一つは会員の増強、二つ目は支部の特色を生かした活動、三つ目はJR・グループ会社への協力です。今年もこの三つを目標として楽しいOB会活動を展開していただきたいと思います。

新年を迎えるにあたり



東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長

松本 正之

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶申し上げます。

昨年は、景気低迷等による厳しい経営環境のもと、鉄道事業における安全・安定輸送の確保を最優先に、グループ全体の総合力を結集して質の高いサービスの提供と収益力の強化に取り組まれました。

東海道新幹線では、「のぞみ」の更なるサービス充実を図ったダイヤ改正を実施するなど、輸送サービスの向上に努めました。

在来線では、名古屋地区の都市圏輸送を中心としたダイヤ改正を実施するとともに、ATS-PT導入に向けた工事を着実に進めました。

営業面では、「EX-ICサービスの」山陽新幹線への利用区間拡大や、法人会員の皆様に対するサービスを開始しました。

関連事業では、新たな取り組みである農業事業への参入について順調なスタートを切りました。

また、東海道新幹線バイパスの実現に向けた取り組みについては、4項目調査を着実に進めたほか、7月には超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会より「営業線に必要な技術が網羅的、体系的に整備され、今後詳細な営業線仕様や技術基準等の策定を具体的に進めることが可能となった」と評価されました。

さらに、海外高速鉄道プロジェクトへの対応体制を整備し、高速鉄道技術を紹介する高速鉄道シンポジウムを開催しました。

一方、JR東海博物館（仮称）の本格的な工事に着手しました。

本年も安全・安定輸送の確保を最優先に輸送サービスを充実

するとともに、収益力の強化と技術レベルの不断の向上に取り組むことはもとより、業務執行全般にわたり知恵を絞り効率化と低コスト化を徹底し、経営体力の充実を図ります。

東海道新幹線では、地震対策として脱線・逸脱防止対策を推進するとともに、引き続きN700系車両の投入を進め、輸送サービスの充実を図ります。加えて、輸送の弾力性向上等を目的とする新大阪駅の大規模改良工事を着実に推進します。

在来線では、ATS-PTの導入に向けた工事を進めるとともに、新型車両への取替などの輸送サービスの向上に取り組めます。

営業面では、TOICAの電子マネー機能追加等のサービスを開始するとともに、観光キャンペーンの展開や、インターネットを活用した販売によるご利用拡大に努めます。

さらに、引き続きより高いレベルの鉄道輸送サービスを提供するための技術開発に取り組むとともに、海外高速鉄道プロジェクトへの事業展開の具体化を進めます。

関連事業では、既存事業の強化を図りながら、名古屋駅新ビル計画を推進するほか、農業事業の新たな取り組みを検討します。

そして、超電導リニアによる東海道新幹線バイパスの実現に向けた取り組みを着実に進めるとともに、山梨リニア実験線の設備更新及び延伸工事を着実に進めます。

本年も、東海鉄道OB会の皆様のご健勝・ご活躍をお祈りするとともに、当社の使命を果たすため一層の努力を続けてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

あけましておめでとうございます

(順不同)

東京ステーション開発株

代表取締役社長
明石 洋一

新横浜ステーション開発株

代表取締役社長
菅生 邦孝

ジェイアール東海静岡開発株

代表取締役社長
高橋 陵太郎

静岡ターミナル開発株

代表取締役社長
栗栖 哲義

浜松ターミナル開発株

代表取締役社長
向山 雅衛

豊橋ステーションビル株

代表取締役社長
氏原 伸

ジェイアールセントラルビル株

代表取締役社長
天谷 昭裕

名古屋ステーション開発株

代表取締役社長
阿曾 克彦

名古屋ターミナルビル株

代表取締役社長
酒井 吉彦

ジェイアール東海関西開発株

代表取締役社長
和泉 秀郎

ジェイアール東海不動産株

代表取締役社長
志田 威

株ジェイアール東海バスセンター

代表取締役社長
今村 元

ジェイアール東海商事株

代表取締役社長
所澤 照夫

株ジェイアール東海高島屋

代表取締役社長
鐘 政良

東海キヨスク株

代表取締役社長
建守 猛

ジェイアール東海フードサービス株

代表取締役社長
坂田 雅哉

静岡ターミナルホテル株

代表取締役社長
可知 照生

株ジェイアール東海ホテルズ

代表取締役社長
印南 隆夫

名古屋ターミナルホテル株

代表取締役専務
柴田 秋雄

株ジェイアール東海ツアーズ

代表取締役社長
吉田 修

株ジェイアール東海エージェンシー

代表取締役社長
石塚 正孝

株 ウェッジ

代表取締役社長
布施 知章

ファーストエアートラnsito株

代表取締役社長
辻村 和人

ジェイアール東海バス株

代表取締役社長
渡部 一俊

株東海交通事業

代表取締役社長
木學 康充

ジェイアール東海物流株

代表取締役社長
加藤 公一

ジェイアール東海建設株

代表取締役社長
本多 啓

あけましておめでとうございます

(順不同)

ジェイアール東海コンサルタンツ株

代表取締役社長
土井 利明

日本車輛製造(株)

代表取締役社長
生島 勝之

新生テクノス(株)

代表取締役社長
関 秋生

新幹線エンジニアリング株

代表取締役社長
藤田 邦隆

東海交通機械(株)

代表取締役社長
佐野 守彦

日本機械保線(株)

代表取締役社長
杉山 徳平

中央リネンサプライ(株)

代表取締役社長
石丸 洋

ジェイアール東海情報システム株

代表取締役社長
今福 博之

ジェイアール東海総合ビルメンテナンス株

代表取締役社長
江藤 文人

新幹線メンテナンス東海株

代表取締役社長
大谷 昌弘

東海整備(株)

代表取締役社長
山守 努

セントラルメンテナンス(株)

代表取締役社長
磯崎 哲

(株)関西新幹線サービック

代表取締役社長
佐藤 慎一

双葉鉄道工業(株)

代表取締役社長
磯浦 克敏

シーエヌ建設(株)

代表取締役社長
寺島 優

(株)全日警

代表取締役社長
片岡 直公

(株)鉄友社

代表取締役社長
金井 博史

名工建設(株)

代表取締役社長
増永 防夫

(株)リック・フーズ

代表取締役社長
稲川 正幸

アイワ電設開発(株)

代表取締役社長
加藤 清勝

日本貨物鉄道株 東海支社

常務執行役員支社長
神立 哲男

鉄建設株 名古屋支店

執行役員支社長
市脇 富久男

東邦電気工業(株)

代表取締役社長
山内 英樹

名古屋通信工業(株)

代表取締役社長
清水 源治

(株)中部総合ビルサービス

代表取締役社長
井上 隆次

(株)名古屋鉄友社

代表取締役社長
井上 隆次

本部

平成21年 秋の叙勲受章 おめでとうございます

去る平成21年11月3日、平成21年秋の叙勲受章者が発表され、東海鉄道OB会関係では、10名の方々が鉄道業務功勞で、栄えある賞賜を受けられました。(順不同)

瑞宝 小綬章



磐田支部
鈴木 喜久雄 様

瑞宝 小綬章



岐阜工事局支部
早川 敏彦 様

瑞宝 双光章



三河支部
金子 昭次 様

瑞宝 双光章



笠寺支部
近藤 廣二 様

瑞宝 双光章



滋賀県支部
松村 和雄 様

瑞宝 単光章



豊橋支部
堤 継良 様

瑞宝 単光章



三河支部
酒井 慶次 様

瑞宝 単光章



稲機支部
中島 博 様

瑞宝 単光章



西濃支部
伊藤 新 様

瑞宝 単光章



津支部
宮田 孝也 様

日本鉄道OB会連合会が ホームページを開設

鉄道OB会連合会本部が、平成21年7月1日、全国版のホームページを開設しました。

内容は、鉄道OB会のあゆみ、OB会の案内、インストラクターの活用をはじめ、会員特典ページには、年金・福祉・介護・医療等の生活情報のほか、団体割引傷害保険、終身保険あるいはJRホテルグループ割引などが広く紹介されています。

今後、東海鉄道OB会のホームページとともに、会員の皆様の共有の場として活用して下さいますようご案内します。

●アドレス

<http://www.tetsudo-ob-honbu.com/>

●会員パスワード

ID : obmember PW : nr2171ob

名古屋地方本部

“みんなで参加”
大切な絆を繋ぐ

名古屋地方本部 事務局

名古屋地方本部主催の「秋の立山堂室平と源泉掛け流しの湯金太郎温泉」の旅を10月6日と7日の両日で開催し、各支部から161名が参加しました。

当日は、JR東海バス5台にそれぞれ乗車し、バス毎にカラオケ、漢字クイズなどを行い初秋の奥飛騨路を快適に走り、最初の目的地である越中八尾観光会館に向かいました。

会館では、揃いの法被と浴衣をつけた踊り手たちが、三味線、胡弓、太鼓の音に合わせて、哀調を帯びた越中おわら節の唄声ののって、優雅に舞い踊る「おわら風の盆」に魅了されました。また、併設している曳山展示館では、3基の絢爛豪華な曳山が展示しており、息をのむ素晴らしい感嘆しました。



▲参加者が一堂に集まり絆を深める

その後、宿泊先の金太郎温泉に到着し、大浴場で源泉掛け流しの天然温泉をゆっくり堪能して、懇親会に移りました。懇親会では、各支部が入り混じって賑やかに歓談、支部間及び会員同士が交流を深めていました。また一方では、のどに自慢のある会員がカラオケを披露するなど、何時までも尽きることがありませんでした。

翌日は、台風が近づいているため雨の心配をしましたが、室堂平は幸いにも雲が途切れ見晴らしも良く、みくりが池の散策などで秋の標高2,450メートルの景色を満喫しました。

一人の病人、ケガ人も無く無事帰路に着き、参加者からこのような旅行こそみんなが参加し、OB会としての大切な絆を繋いでいこうという声がありました。

静岡地方本部

バーベキューで
親睦強化を目指す

鳥田支部 松永 敏明

当支部の本年度の事業計画には、レクリエーション及び福祉活動の推進を図り、会員相互の親睦強化を大きく掲げました。

その一環として、7月30日「森林浴とバーベキュー大会」を開催しました。会場は、大井川鉄道沿線の島田市身成「野外センター」の家で、川沿いには木々が茂って自然のままですが、水道設備も整った市民キャンプ場です。

当日は、天候不順で心配しましたが、会員の日頃の行いのおかげでしょうか、前日までの雨はすっかり上がり、朝から日がさす素晴らしい天気になりました。鳥田駅前に集合し、村松島田駅長に見送られ、9時発の鳥田コミュニティバスに全員乗車して、キャンプ場に向かいました。



▲バーベキューで親睦を深める

当支部初めての行事でしたが、18名が参加し会場に到着するや、男性陣が大張り切りで、早速バーベキューの鉄板を2箇所に設置する等食事の準備に取り掛かりました。

鉄板を囲んでコの字形に集まり、野菜や肉など持ち寄った食材を焼きながら、奥様たちを含めた楽しい会話や情報交換で、和やかなうちに酒も飲み、日ごろ聴いた詩吟や得意な演歌を披露し、やんやの喝采でした。会も最高潮に達したところで、ビンゴゲームを行い、それぞれ持ち寄った賞品等を獲得して、午後2時終了しコミュニティバスで帰途に着きました。

今回のハイキング、小旅行等のレクリエーションでは、更に多くの会員の参加を誘うことを約束して、有意義な一日を終わることが出来ました。

団臨特急列車で行く 「甲州ぶどう狩り」の旅

静岡地方本部 事務局

静岡地方本部主催の「甲州ぶどう狩り」の旅を「ワイドビューふじかわ」の車両を使い、浜松駅から金手駅まで行った。

地主主催旅行は、お座敷列車があった時は毎年実施していたが、お座敷列車の廃車後10年余りブランクがあった。一昨年のダイヤ改正で東海号が廃止され、車両に余裕ができたとの知らせを聞き、久しぶりに団体旅行を計画することとした。

内容は、9月10日(木)浜松駅7時38分の団臨特急列車が発出。途中静岡駅でビール、酒、つまみ等を積み込み、静岡支社運輸営業部幹部、キヨスク、ツアーズ等の見送りを受けて出発。早速久しぶりに会う旧友と酒を酌交しながらの歓談、富士駅に到着した。

ここでは、特別注文した駅弁を積み込み、同時に三島以西の各支部が乗り込んで、いよいよ目的地の身延線に入り、西富士宮駅において富士宮支部が乗り込み、総勢175名は一路金手駅に向った。

目的の金手駅には11時28分到着、約3分歩いて「ぶどう園」に到着。ぶどうが垂れ下がる棚のもとで食べ放題のぶどうを食べながらミニ宴会を開きこども旧交を温めた。あとはそれぞれが家族や知人にぶどうの土産を買い求め、持ち帰る人また送る



▲元気に「ぶどう園」に向かう参加者

人の列が長く続いた。

何と言ってもバスと違い、列車の旅は人気が高く、列車の中が宴会場と言える状況で、参加した会員は喜び、来年も今度は西の方でやって欲しいと期待している人が多かった。

(JR増収協力 700,600円)

「鉄道博物館見学」の旅で 仲間と一緒にの幸せを

身延支部 太田 幸雄

8月最後の日曜日である8月31日に、見延支部は埼玉方面へ納涼会を兼ねた日帰りバス旅行を実施しました。

早朝6時に、身延文化会館前を出発し、途中何箇所かで参加者を乗せ、最初の目的地である川越へ向かいました。車中では、事務局の発案で各参加者の自己紹介をするなど、終始和やかな雰囲気の中に川越の町に着きました。

早速、町の79歳の元氣なガイドさんの案内で、川越の蔵造りの町並み等を見学した後、大宮にある鉄道博物館に向かい、12時ごろ到着し、鉄道博物館入口付近に展示してある、D51の前で記念写真を撮り、館内の休憩所で昼食の弁当を食べました。久しぶりに昔の同僚、仲間と一緒に弁当を食べた味は格別なものでした。

昼食後、館内を見学しました。過去、自分の専門分野だった展示物に接すると、在職時を偲ぶ光景がみられました。



▲D51の前で仲間と一緒に

見学も終わり、15時30分に博物館入口付近に集まり、小雨降る中央道を帰路につきました。バスの車内では酒、ビール等が配られ大いに盛り上がり、納涼会に様変わりしました。お互いすっかり打ち解けて、賑やかに過ごしているうちに無事最終の身延に着き、それぞれ家路にと向かいました。

今回のバス旅行は、みんなが童心に返り、同じ弁当を昔の仲間と一緒に食べたことと云う、ささやかな幸せを感じた一日だったと思われます。

東海東京地方本部

横浜港 “開港150年記念イベント”へ
日帰りの旅

東海東京地方本部 事務局

大好評だった前回に続いて、9月24日、第2回東海東京地方本部主催「横浜港 日帰り」の旅を開催し、好天の中早朝から多数の会員の参加を得ました。

今年は、バス2台を用意したところ、75名の会員が参加され、朝、相互に温かく挨拶を交わしながらバスに乗車しました。何度も走ったことのある東名高速道路ですが、ガイドさんから改めて横浜付近の名所・旧蹟など、建物の歴史を聞きながら旅するのもいいのだと感じました。

何よりも今年の旅は、ご夫婦の参加が多く、ときおり奥さんに感謝の気持ちを現わす姿は、私どももちょっと若い世代への手本でもあり、またレク開催の意義からも大切な一面を見せられ、大変素晴らしい光景でした。車内では、長年鉄道員として培った仲間が、相違じょう連帯感を醸し出す雰囲気を見て、OB会が今後



▲横浜中華街で昼食を楽しむ参加者

も永く結束して、活動を盛り上げていく大切さを痛感しました。

今回の旅行のポイントは、リニューアルしたマリインタワーと山下公園周辺の散策。昼食は横浜中華街そして横浜港開港150周年イベントの見学でした。それぞれ時間に余裕をもって楽しんでもらおうと計画したため、夫婦あるいは会社の仲間、旧友がゆくり会話し、巡る思いを過ごす格好の時間を演出しました。

帰路の車中では、皆ぐっすりと寝入る姿も目立ち、これも旅ならではの大切な時間なのだろうと見守っていました。

当地本では、レク活動が益々盛んになる事が、OB会の組織力を高めるものと信じて一歩ずつ前進しています。

東海大阪地方本部

第2回
楽しく魚釣り大会開催

東海大阪地方本部 事務局

東海大阪地方本部は、平成21年10月3日(土)第2回魚釣り大会を、淡路島洲本市の防波堤(兵庫県)で開催し、釣り好きのメンバー5人が参加しました。

前日からの雨が開催当日まで続き、心配しましたが競技開始の13時30分頃には、すっかり晴れ上がり風もなく気持ちの良い釣り日和となりました。

いよいよ競技開始となり、一投目、二投目とサビキ仕掛けを投げるうちにウキが沈み、釣り上げるとスズメダイ、イサキ(稚魚)



▲防波堤に集う釣りメンバー

が掛かり、その後もスズメダイとイサキの連続で、本命のアジの当たりの気配もなく、一回目の釣り大会と同じ状況になりそうで、悪い雰囲気流れました。

しかし、15時30分頃に突然アジが(15cm~18cm)釣れだし入れ食い状態となり、全員が忙しくアジを釣り上げていました。中でも車両支部の尾崎さんが、25cm位のアジ2匹を釣り上げ、今大会の大将賞を獲得しました。

今回は、全員が目標としたアジを釣り上げ、楽しい一日を過ごしました。



▲新しい社員研修センターの外観イメージ



▲餅入れを行う東山人事部長

平成23年度の開所に向けて

社員研修センター 建設工事安全祈願祭

●人事部

9月2日、社員研修センターの統合に向けた建設工事の安全祈願祭を、建設予定地である三島社員研修センターの敷地内で行いました。

当日は、東山人事部長、森下建設工事部長、鈴木社員研修センター所長をはじめ当社及び工事関係者計30名が出席し、厳粛に式典を執り行いました。

式典では施主を代表して東山人事部長より「鉄道会社である当社の使命は、鉄道を安全に運行することであり、社員全員が一丸となって安全・安定輸送の実現に努めている。現在の社員研修センターもこうした輸送を支える人材の育成に大変重要な役割を果たしているが、新しい社員研修センターでは、充実した環境のもとで、さらなる教育効果の向上と研修の効率的な運営を追究し、引き続き人材の育成に注力していく」との挨拶がありました。

安全祈願祭を終え、いよいよ本格的に建設工事が始まります。今後は平成23年度の開所に向けて工事を着実かつ安全に推進していきます。



▲入所式に出席した皆さん



▲決意表明を行う森さん(新富士保険所)

職場の若手リーダーを目指して

第17回リーダー研修スタート

●人事部

今年で17回目となるリーダー研修が、9月15日から三島社員研修センターで始まりました。年度初24歳から29歳の社員を対象に、今回は45名が選抜され、受講しています。

今回の研修は、現状に満足せず、常に問題意識を持って自ら考え行動する姿勢を身につけることに重点を置いて実施しています。

研修生は、屋内外での様々な演習を通じてリーダーシップを学ぶ研修や会社幹部による講義、各系統の現場での実習、グループでの研究課題、自系統の専門技術に関する研修などを通して、自らが果たすべき役割について考えるとともに、課題を発見し解決する力を養います。また、箱根八里踏破や自転車による琵琶湖一周等の体験を通して、目標に向かって粘り強く行動する力を身に付けます。

入所式では、研修生代表の森 健太郎さん(新富士保険所)より「45名がお互い協力し、助け合いながら、議論を重ね、挑戦を繰り返す中で、リーダーとしてふさわしい価値観、判断力、行動力を修得したい」との決意表明がありました。11月27日までの48日間を通して、研修生全員が職場の若手リーダーを目指し、たくましく成長してくれることを期待しています。

情報化月間推進会議議長より

EX-ICサービスが 平成21年度情報化促進貢献 情報処理システム表彰を受賞

●総合企画本部 ●営業本部

10月1日、「エクスプレス予約システム(EX-ICサービス)」が、情報化月間推進会議議長より平成21年度情報化促進貢献情報処理システム表彰を受賞しました。

情報化月間とは、産業・社会・生活のあらゆる分野に広く深く浸透しているわが国の情報化について広く国民の理解と認識を深めることを目的に、経済産業省、内閣府、総務省、財務省、文部科学省、国土交通省の6省庁が毎年10月を「情報化月間」と定め、全国で各種行事を実施しているもので、毎年10月1日に情報化促進に貢献した個人、企業、情報システム等を対象に表彰が行われています。

今回、当社が受賞した表彰は、企業経営の高度化・合理化など我が国の情報化の推進に資する上に技術的、社会的波及効果に優れたシステムに与えられるものです。当社は、平成16年度情報化月間でも「エクスプレス予約システム」で国土交通大臣表彰



▲情報化月間記念式典の様子



▲EX-ICカード

を受賞しており、基本的な利便性の高さに加え、オンラインシステムによるチケットレスサービス化と都市圏ICカードとの連携による乗り継ぎ利便性向上を実現したシステムに対しても高い評価を得たこととなります。

愛知県知事から表彰

救急医療功労者表彰

●名古屋セントラル病院

愛知県では、県民に救急医療や救急業務に対する理解と協力を得るため、9月9日「救急の日」またはその前後の日に救急医療推進大会を開催し、救急医療功労者と救急業務功労者の表彰を行っています。平成21年度救急医療推進大会は、9月9日に愛知県医師会館(名古屋市中区)で開催され、当院は救急医療功労者(団体)として愛知県知事から表彰されました。

当院は地域の中核病院として地域救急医療体制に貢献するため、平成15年4月以降、愛知県第2次救急医療体制病院群輪番制の内科・外科・耳鼻いんこう科登録病院として、名古屋市の病院群輪番制に積極的に参画してきました。24時間救急患者に対応できるよう、当直医の体制と電話での緊急呼出に応じるオンコール体制を整備し、特に平成18年7月の新病院開院以降は、患者をストレッチャーから移し変えることなく、直接CTでの画像診断ができるシームレス救急CT(SMART)など、先端医療機器を活用した専門スタッフによる安全で質の高い救急医療の提供に尽力してきました。

今回の表彰は、昼夜問わず搬送されてくる救急患者を積極的



▲表彰式の様子(右から4番目が本村副院長)



▲表彰状

▲シームレス救急CT(SMART)

に受け入れる医師、看護師、技師(士)など、当院スタッフの真摯な取り組みが高く評価されたものと考えます。

今後も、積極的に救急搬送患者の受け入れを行うなど、地域の期待にお応えできるよう、スタッフ一同努力してまいります。



▲殉職者慰霊法要の様子



▲安全への努力を誓う松本社長

安全への努力を誓う

21年度殉職者慰霊法要

●人事部

10月10日、静岡県浜名郡新居町にある当社の殉職者慰霊所にて、松本社長、阿久津副社長、野田副社長をはじめとして、当社幹部9名とJR東海ユニオンの水嶋委員長が参列して、21年度の殉職者慰霊法要を執り行いました。

慰霊所には、当社発足後に殉職した4名の御霊の他、東海道新幹線の建設、旧国鉄名古屋地区、旧国鉄静岡地区、新幹線総局などで殉職された方々の御霊が合祀されています。

この日は晴天のもと、参列者は当社の慰霊碑に祀られている4名をはじめとする多くの殉職者の御霊を慰めるとともに、弛むことのない安全に対する努力を改めて誓いました。

プロ野球新人選手選択会議(ドラフト会議)

土本恭平投手が 読売ジャイアンツから指名

●JR東海硬式野球クラブ



▲指名後の会見で、小栗監督と握手を交わす土本投手(左)



10月29日に開かれた「プロ野球新人選手選択会議(ドラフト会議)」でJR東海硬式野球クラブ所属の土本恭平(つちもと・きょうへい)投手が、読売ジャイアンツより3巡目に指名を受けました。

土本投手は、指名を受けた後の会見で「与えられた仕事をしっかりとこなせるピッチャーになりたい。スター選手が揃う競争の激しいチームの中で勝ち上がり、試合で投げたい」と意気込みを語りました。

JR東海初のセ・リーグ入団選手となります。スター選手の揃うセ・リーグの中での活躍を期待したいと思います。今後とも土本投手にご声援よろしくお願いいたします。

18年間のご愛顧に感謝して 佐久間レールパーク フィナーレイベント

●東海鉄道事業本部

平成3年4月に飯田線・中部天竜駅構内に開園した「佐久間レールパーク」は、貴重な鉄道資料の展示など、楽しみながら歴史を学べる鉄道博物館として、お客さまに親しまれてきました。この度、平成23年春オープン予定の「JR東海博物館(仮称)」へ展示車両の一部を移設するため、同パークは11月1日を最後に閉園することとなり、18年間のご愛顧に感謝して、今年3月1日から「佐久間レールパーク記念イベント」として、様々なイベントを実施してきました。

特に夏休み期間中にはヘッドマークの撮影会や117系・119

系デビュー色の撮影、オリジナル商品であるポスターやドロップスの販売、9月の5連休・10月の3連休には、ラッセル車の展示、コンサートを聴きながらランチやビールを展示車両内で楽しむなどのイベントに力を入れました。

いよいよ閉園となった10月31日・11月1日は「佐久間レールパーク・フィナーレイベント」として、両日とも無料開放し、特別公開車両の一斉公開や、展示車両内のコンサート、地元による特産品の販売や郷土芸能の披露を行いました。また、最終日の1日には臨時快速「佐久間レールパークフィナーレ号」も運行し、豊橋駅では「佐久間レールパークフィナーレ1号」の出発式や、「さわやかワーキング」、鉄道通タレントのトークショー、鉄道部品オークション、閉園セレモニーなども実施しました。両日合わせて1万5千人以上の多くのお客さまにご来園いただき、有終の美を飾ることができました。



▲「佐久間レールパーク号」ヘッドマーク贈呈



▲展示車両



▲フィナーレイベントの様子



▲「佐久間レールパーク フィナーレ1号」出発式



▲「旧型客車オハ35形」車内コンサートで演奏する大塚さん(名古屋運輸所)



冠動脈インターベンション PCI (Percutaneous coronary intervention)

名古屋セントラル病院
循環器内科副院長 篠田典宏



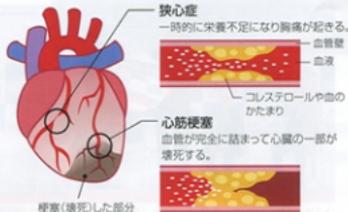
最近、わが国では生活習慣の欧米化により、メタボリックシンドローム、高コレステロール血症の方々が増え、その改善が遅れる中、心筋梗塞、狭心症といった心臓病が増加しています。

心筋梗塞、狭心症に対する治療法として、カテーテルという細い管を用いて、心臓の血管内に細いワイヤー（針金のようなもの）を通し、血栓（血のかたまり）、コレステロールなどで詰まった部分を広げる「冠動脈インターベンション（PCI）」が注目を浴び、雑誌やテレビなど、様々なメディアで紹介され、目にする機会も増えていると思います。

今回は、PCIについてご紹介させていただきます。

虚血性心疾患とは

心臓が動くために必要な栄養をおくる血管を冠動脈といいます。3.5-2.5mmの細い血管で、左に2本、右に1本の合計3本からなります。虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症をまとめたもの）は、冠動脈が、血栓、コレステロールにより血管内が狭くなる動脈硬化により血流が悪くなり、心臓に十分な栄養を送れず、胸痛や心臓発作を起こす病気です。血管が狭くなり、心臓が一時的に栄養不足になり胸痛が起きるのを狭心症といい、血管が完全に詰まってしまい、心臓の細胞の一部が死んでしまう（壊死）のを心筋梗塞といいます。



虚血性心疾患の治療法

虚血性心疾患の治療法は、①薬物療法、②冠動脈インターベンション（PCI）、③冠動脈バイパス手術の3つからなり、①で不十分な場合は、②、③を考慮するようになっていきます。

冠動脈の状況から、個々に最も適した治療法が選択されますが、バイパス手術は、全身麻酔、開胸を必要とする大手術で、体への負担が大きいため、医療の進歩に伴い、局所麻酔で、切らないで治療できる、体に負担の少ない冠動脈インターベンションが増加しています。

冠動脈インターベンション



足の付け根、あるいは手首から皮膚に小さい穴（2mm-2.5mm）を開け、カテーテルを血管内に挿入し冠動脈に入れます。その後、0.036mm程度の髪の毛より細いワイヤーで、狭い部分、あるいは詰まった部分を通過させます。



ワイヤーに沿わせて、バルーンカテーテル（風船）を挿入し、バルーンを膨らませ狭窄部位を拡張します。その後、しばませて引き抜きます。



痛みは、局所麻酔の時、またバルーン、ステントで血管の拡張を行っている間の数十秒で、手術時間は平均1-2時間です。足の付け根からの手術では、手術後に半日程度の安静が必要とされますが、手首からの手術では、1時間程度の安静で自由に行くことが可能で、より体に負担の少ない治療法です。当院でも、できるだけ患者さんの体に負担の少ない治療をと考え、9割近くの患者さんが手首から治療を行っています。

典型的な症状である「胸が締め付けられる」、「胸が圧迫される」がある方、症状がなくても糖尿病、高コレステロール血症、高血圧、家族歴、喫煙などの危険因子があり心配な方は、当院などの医療機関へ受診し、早期発見、早期治療をお勧めします。

日本百名山に挑戦して



尾北支部
犬飼 暢

私の登山歴は、通算約15年になります。大別して20歳代前半の約5年間と、60歳代後半から現在までの約10年間です。前期は、地域で山岳会の会長をしていました。

山岳会へは、職場の先輩に勧められ入会したのが始まりです。最初に登った山は、「白山」でした。雨と霧の悪天候でしたが、何か自然の素晴らしさに魅せられ、以来、山に取りつかれてしまいました。しかし、職場、職種等が変わり、登山をする機会が無くなり、「大山」を最後に中断することになりました。

後期は、約40年間のブランクがありました。折からの日本百名山のブームに乗じ、私なりに目標を設定して、「百名山」を意識して挑戦することになりました。再スタート最初の山は「木曾駒ヶ岳」でした。以後、現在までの約10年間は、交通機関、登山道などが前期に比べ整備、改善され予想以上のペースで登る事ができ、その結

果、私の目標でした「50座以上」の登頂と「日本の高峰」第1位から第5位(富士山、北岳、奥穂高岳、間岳、槍ヶ岳)までの山を征服し達成する事ができました。

登頂した山は、前期14座、後期41座となりました。その登山方法は、ツアー登山23座、三友同行登山21座、単独登山11座です。登頂した55座の内、最も感動、感激した山は、平成20年8月29日に登頂した「槍ヶ岳」です。登頂日は最悪の天気予報だったが、当日は、奇跡的に絶好の登山日和になり、入山者も少なく、あの、槍ヶ岳の穂先(頂上)を私達ツアー14名のみの「数分間独占」した事です。そして、登れた達成感と充実感…まさに私の登山歴で最高の登山になりました。

中高年世代の山岳遭難防止に①無理するな②過信するな③一人で登るな、と云う注意事項があります。

総ての項目に該当する年齢、体力を感じるようになり、昨年登った「赤城山、美ヶ原」を最後に日本百名山の挑戦は止める事にしました。

これからは、近郊の里山でトレーニングに動き、レベルを少しずつダウンしながら「歳」相応に、体力の続く限り登り続けたいと願っています。

人生の節目



掛川支部
小澤 秀雄

人生には、その時々によっていろいろ大切な節目があります。

学校を出て始めて社会に出る時、結婚して一人前の社会人として認められる時、現役を終えて第二の人生に入る時などですが、こうした大切な節目の中で特に難しいのは、第二の人生に入る時ではないでしょうか。

それは、今まで長い間与えられた、管理社会の中で生きてきた者が、ある日突然、自分を管理する自己管理の生活に、切り替えなければならないからです。この切り替えが上手いかわないと、病気になるたりまた急に老けこんだりして、身心ともに老人になって仕舞うケースが、結構身近に多いからです。

せっかく、今まで頑張ってきたのに第二の人生に入る時に、これでは誠に残念です。昔は人生50年と云われましたが、今は80年の時代になりました。この延びた30年をどのように生きるかで、第二の人生は大きく変わると思います。

では第二の人生は、どのように過ごしたら良いのでしょうか。若い時には、色々な願望がありますが、年をとれば願いは一つそれは健康です。

私は出来れば、今まで自分が生きてきた環境とは、違った人たちの中で、身体を動かすグループの中に入っていくのが良いと思いました。まずグループの中に入ることにより、そこには必ず制約が生まれ、その制約によって、自分の我慢や甘えを抑制することが出来ます。それにもまして良い事は、自分とは違った環境の中で、育った人たちの交流の中で、価値観の違いを見出す事が出来るからです。

人は、今まで自分が生きてきた社会の中で、自然につくられた自分なりの固定観念というものがありますが、自分と違った環境の中で育った人たちの中には、全然違った考え方をする人もいて、なるほど、という見方もあるのかと、納得させられる事が数多くあるからです。

こうしたことは、頭の動きを柔軟にするとともに、ストレスの解消にもつながります。通常世の中は、65歳以上の人を高齢者と云うようですが、人間50歳までは足し算の人生、50歳を過ぎれば引き算の人生とも言われます。また、山へ登る時よりも、下りの時の方が周囲が良く見えるとも云われます。

目線を下げると、色々な物が見えてきます。幸せは人から与えられるものではなく、自分から掴むものです。老人は「暗い」「消極的」と云うイメージがありますが、歳を重ねてもいつまでも「明るく」「お洒落な」人生を過ごしたいと思います。

私の国鉄時代



中津川支部
野澤 黎二

昭和15年、新潟駅に日給95銭で就職した。姉の家に下宿し、夏は40分、冬は吹雪の中を90分かけて歩いた。冬の構は雪で蒲鉾型となり、立っては歩けず、四つん這いになってやっとの思いで渡った。また、一晩で列車に凍りついた雪をツルハシで

とり、担架で半日かけて運ぶので手が麻痺した。

20年に中津の駅に異動し終戦を迎えた。石炭不足で、石炭掘りの応援隊に応募した。大牟田駅から三井炭坑へ地下3尺ゲージに乗り、有明海の底へ降りていった。中の温度は40度以上の猛暑で、頭にカンテラを付け這うと、汗と粉塵で目と口が判るだけの真っ黒い姿となった。

中津に戻ると、食糧不足の折り武並農場行きとなった。サツマイモと大豆を作るために、駅の糞尿を二斗樽

で山の上の農場まで運び上げた。天秤棒で、一気に担げるようになるまでに半年かかった。戦争のために苦勞した事は、孫子の代まで伝えていきたい。

3年間で、古虎溪駅に変わった。お客さんから、旅行に連れて行って欲しいという要望がでた。国鉄の増収になるのではと考え、日帰りの旅から一泊2日の旅行を計画した。国鉄の寮や簡保の宿を利用したので、値打ちとなり人気を博した。

多治見旅行センターに変わってからは、毎月旅行を計画した。お客さんの口コミで広がり大繁盛となった。特に新幹線・寝台列車・連絡船を使った北海道旅行は、ご当地自慢の駅弁をふんだんに取り入れたので、グルメ旅行の先駆けとなり評判となった。約20年間快適・安全・無事故の旅を退職まで続けることが出来た。

退職後は、安くて近い信州旅行の計画を立て、10年続けることが出来た。

平和な時代と、お客さん・先輩諸兄に感謝感謝の日々です。

RTOのこと



岐阜支部
奥村 元士

昭和41年5月1日が、「名古屋駅開駅80年」ということで、年史発刊が計画された。

当時、僕は名古屋駅勤務であったから「年史」編纂の一人となったが、常任委員の小野田営業部長が中心になって、着々と編纂が進められた。

我々はそれぞれの専門分野で協力するという体制であった。旅客営業ばかり担当していた僕には、当然その方面の割当てがあるものと、安易に考えていたのがそもそも間違いであった。

なんと僕の担当は「RTO」なのである。これは全くの門外漢で、未知の世界というべき分野であり、膨大な復員輸送や進駐車やその家族の国内輸送の円滑な移動に資するために、設置された機関であるという程度の浅い知識しかなかったから、これは大変と驚いた。

「RTO」も廃止されてから既に14年、名古屋駅80年の歴史の中で、戦後たった数年間だけ設置された「RTO」の資料なんて、そんなにあるものではない。何とか資料を集めねばと考えても、手描かりすら思い浮かばない。当時の連絡責任者の先輩を訪ねても、懐古

談は聞いたけれども「年史」として、参考にはなりそうにない。

こうして、すっかり途方にくれていて、日時は切迫してくるし焦っていたおり、ふとある事を思いついた。窮すれば通ずで、これなら何とかなるのではないかと、一縷の望みを託して文書課へ走った。事情を話して、倉庫から戦後「RTO」が廃止になるまでの数年間の各鉄局報を全部借用してきた。

こうなれば我が意を得たりで、日々の局報を丹念に調べ上げ、関連の達示や記事を拾うとかかなりの量となった。集めた参考資料は、順序立てて作文にしてみると、おぼろげながら名古屋「RTO」の全体像が彷彿として来た。

時に、戦勝国と敗戦国との立場から対応する局、駅職員之苦勞話や、馴れてくると賞詞されたなどのエピソードもあって、これなら「年史」として十分ではないかとやや安堵感が湧いてきた。こうして、やっと出来上がった原稿を提出したが、後日、発刊された「名古屋駅80年史」は、200ページに及ぶB5判の大作で、僕の担当した「RTO」は、たったの7頁弱であった。

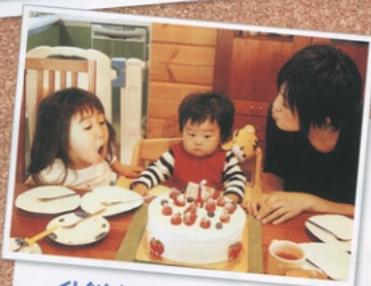
しかし、この7頁弱に込められた当時の状況を回想するたび、懐かしさとともに、忘れえぬ「年史」として、今でも大切に保存している次第です。



曾孫がびっくり

垂井支部 丸岡 正

毎年9月に開催される中仙道重井宿祭りに、長寿会から協賛して参加しています。この年は、私は叔さんの仮装で参加しました。いつもと違う格好に、私を見た孫は笑い、曾孫はおっかなびっくりでした。



一升餅を背中に“よいしょ”

岐阜支部 渡辺 一成

私の孫娘が、10月3日満1歳の誕生日を迎え、ささやかな誕生会を開きました。その際、我が在に伝わる風習で、満1歳の誕生日に背中に一升餅を背負って歩く、一生食べるに困らないと言われ、この行事をおこないました。



「会報への寄稿・投稿」要領

表紙写真	会報「JOBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあつたもので、JR東海エリアを希望しています。写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータでも結構です。お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体は、後日返却します。	投稿ページ	会員及びご家族により親しんでらおうと、「投稿ページ」の欄を設けました。家族或いは友達と一緒に、楽しいOB生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介します。写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。この欄では、各支部で行われている総会をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知魅力ある支部、活力ある支部づくりに役立てていきますので、是非投稿して下さい。テーマ、内容等は自由ですが、400～500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに宮製菓書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内の限り、会報発行時の季節にあつたものとします。応募の際、冠頭に「短歌」「俳句」「川柳」と未重して下さい。
読者のひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんだ写真を一枚は添付して下さい。	掲載要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご了承ください。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

インストラクター

私と菊三味



東海大阪地本
運輸営業支部
井上 義雄

私が菊の虜になったのは、駅のホーム等に飾られている菊に魅せられたのが始まりです。

その後、趣味として約50年、この間各地の「菊花大会」で数多く優勝したり、知事賞を受賞しました。また、昭和56年11月には内閣総理大臣賞を頂きました。

これを励みに職場の文化祭、学校、お寺などの催事に積極的に参加したり、指導のため出かけたりして地域の「ふれあいの絆の輪」を広げています。



▲菊の苗を前に微笑む井上さん

そして、平成18年5月に東海大阪地方本部から、菊作りの講師の依頼を受け、毎年「菊作り講習会」を継続して開催し、会員から大変喜ばれています。

今後も、地方本部の趣味の会が、益々活性化するために私自身も協力していきたいと思っています。

JR 駅探訪
Eki-hanbo

東海道本線
あじ 大正
藤枝駅

- 開業/明治22年4月16日
- 所在地/静岡県藤枝市駅前一丁目

静岡県中央部にあり、静岡市の西約20kmに位置する藤枝市。南アルプスを望み、南北に細長い地形で、東南は焼津市、北は静岡市、西は島田市に隣接している。2008年1月には岡部町と合併。昔から「藤」とゆかりの深い土地だったようで、市の花はもちろん「藤」。

平安時代の武将・八幡太郎源義家が後三年の役で奥州へ下る時、立ち寄った若一王子神社の裏山にあった古い松の木に藤の蔓が絡まり、藤の花が咲き誇っているのを見て詠んだ和歌「松に花咲く藤枝の一王子 宮居ゆたかに 幾千代を經ん」に因んで「藤枝」と書くようになったという。

田中城の城下町として栄えた藤枝宿から南西約2.5kmにある藤枝駅。かつて、袋井までを御前崎経由で結ぶ軽便鉄道「藤相鉄道(後の静岡鉄道)」の乗換駅でもあったが、現在はバス路線となり、駅前の静岡鉄道バスターミナルが往時の駅跡だ。駅周辺は近年、静岡市のベッドタウンとして著しく発展、駅も南北自由通路整備と橋上駅舎改築により、完全/リアフリー化された。

「花と水と鳥」をテーマに作られた市民憩いの場・



蓮華寺池公園は駅の北約2.5km。春は蓮華寺池沿いの藤棚が見頃になり、4～5月にかけて藤まつりも開催される。夏には公園の名の由来となった蓮の花が池に浮かぶ。ボート乗り場や子供広場、アスレチック広場、日本庭園、滝の広場、野外音楽堂など、年齢季節を問わず楽しめる。

駅の北西約2kmに湧く志太温泉。街中にありながら竹林や松林に囲まれ、緑濃い山裾の閑静な温泉地。明治創業という古風な旅館の風情ある木造のたたずまいに、心が落ち着く。

市内を縦貫する瀬戸川上流にある名瀑・宇嶺の滝。落差70mの大滝は、悲恋の伝説から別名「お君の滝」と呼ばれ親しまれている。

駅探訪は、『JR東海の社内誌「おれんじ」11月号から抜粋し再構成したものです。

文芸

【短歌】

新しき 宇治大橋の 渡り初め
手をとぎさえて 妻と渡りぬ
赤福を 食べて福が 抜かると
土産に買いいし 赤福のもち

津支部 岡 俊雄

日照り田に 大程の稲 播分けて

穂抜く翁の 背に滲む汗
栗の花 匂い着けき 山路来て

音なく落ちる 花房を踏む

瀬野支部 池谷秀夫

空襲に 壕へ潜りし 度に泣く

赤子の妹も 六十余歳

十数年 嘆いて暮らす 隣人の

シルバーカーに 今日ばかりをり

浜松支部 原 哲

リニアは アルプス貫ぬき 冷気削ぐ

それまで生きたし 百歳を超ゆ

間伐の 竹の切口 それぞれに

雨漕へをり 驟雨上りぬ

上伊那支部 竹内激一

人道とふ 大義の裏に 鬼隠れ

難民増ゆる いくさが続く

誰に逢ふと 云う事も無き 身なれども

装ひてみる 新春の朝

陶都支部 伊藤博司

【俳句】

威を正し 天の声聴く 冬木立
常連の 顔ぶれ揃ふ 年忘れ

浜松東支部 大倉照二

天高し つまんでみたき 白い雲

荻々の中に ひっそり 螢草

津支部 奥村大喜男

睥睨す 阿吽の仁王 寒の入

恙がなく 二人の幸や 寒の餅

名古屋臨港支部 伊藤鈴登

彩少し 残し湖北の 山眠る

北風や 駅待合の 小蒲団

山東支部 久保田かよ子

甘酒も お神酒も笑顔 初詣

老け込まぬ 気力を笑う 置炬燵

大府支部 藤井芳雄

振りかえる 余裕を持たず 年迎え

初日の出 八十路の夢を ふくらませ

富士宮支部 波辺定喜

給付金 反対しながら 欲しがらん

裏金を 積み立てながら 退職者

美濃太田支部 竹内幸一

上手だね 目では下手だと 言っている

一呼吸 おけば怒りも 笑いなり

沼津支部 山田寿男

【川柳】

編集後記

会員の皆様あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

新年号恒例の東海旅客鉄道株式会社代表取締役社長 松本 正之様からの新年のお祝辞と東海鉄道OB会会長 石塚 正孝からの挨拶及び鉄道OB会の法人会員である各社からの年賀状を掲載させていただきます。

1. 会報のリニューアルについて

一昨年のアンケートの回答結果を踏まえ、昨年からプロジェクトチームを立ち上げ、何回も検討し、ジェイアル・東海線、ジェイアル東海エージェンシー様のご指導もいただき、本号からご覧のようなスタイルでお届けする運びとなりました。

硬いというイメージを払拭するため、①誌名の変更②横書き③オールカラー化することとし、会員の皆様に親しんでいただけることを第一に考え、情報を単純に流すのではなく、心のこもった情報の提供に留意し、写真等を出来るだけ掲載した結果、柔らかく洗練された会報誌になったと自画自賛しております。

会員の皆様のご感想はいかがでしょう。

2. 地本・支部だより

各地方本部・支部とも、秋の行楽シーズンで旅行やレクリエーション活動が活発に行われ、会員相互の親睦を深めました。

3. 投稿ページ新設

会員及びご家族にも親しんでいただけるよう新設しました。投稿要領の趣旨に沿ってどしどし投稿してください。

4. インストラクター紹介

インストラクター(指導員)として認定され、ご活躍いただいている会員を紹介していきます。

(中川)



2010

予約不要! 気軽に参加できる
さわやかウォーキング

新春ウォーク

参加費無料 予約不要 駅がスタート!

1/9(土) ~ 2/28(日) 土・日開催



名古屋地区
8コース
2/6まで開催



静岡地区
19コース
2/28まで開催



※写真、イラストは全てイメージです。



開催については、JR東海の駅にある専用パンフレット又は、
ホームページをご覧ください。 <http://jr-central.co.jp>

ケータイでもカンタンに
アクセスできます!

